

ベストガード カートリッジ

1. 薬剤使用（蒸散機設置）の目安

- 開放空間 約50 m³あたりに1台
- 前室などの閉鎖空間 約150 m³あたりに1台

2. 殺虫剤の有効成分

ピレスロイド系殺虫剤 トランスフルトリン

急性経口毒性（LD₅₀値）

ラット♂/♀ >5,000mg/kg

急性経皮毒性（LD₅₀値）

ラット♂/♀ >5,000mg/kg

急性吸入毒性（LC₅₀値）

ラット♂/♀ >513mg/m³

薬剤カートリッジは、有効成分トランスフルトリンを溶剤と混合させ紙製のカートリッジに定着させて製品化しております。本品の有効成分であるトランスフルトリンは拡散性に優れ、空気中では速やかに希釈され、蒸散した有効成分が器物等に付着した場合でも再び蒸散し、ドアの開閉や部屋の自然換気により容易に希釈されます。トランスフルトリンは、医薬部外品の蚊とり器等の有効成分として多くの使用実績があり、安全性の高さが確認されております [雌雄ラットにおける急性経口毒性値（LD₅₀値）は、>5,000 mg/kg]。また、本化合物を蒸散させた場合、薄い被膜の状態では器物等に付着していると考えられますが、そのような状態では、散乱光が差し込む場所や蛍光灯下では分解され易く、残留性は低いことが知られております。なお、本化合物は農薬ではなく、ポジティブリストには入っておりませんので、食品での残留基準は0.01ppm以下とされていますが、食品がある空間で使用した場合、残留基準以上の付着量とはならないと考えております。しかし、食品の真横や密閉度の高い空間、標準使用容積を下回る空間などで使用した場合は、薬剤の残留が認められますので、使用場所には十分配慮してご使用ください。

3. 使用有効時間

約1,500時間

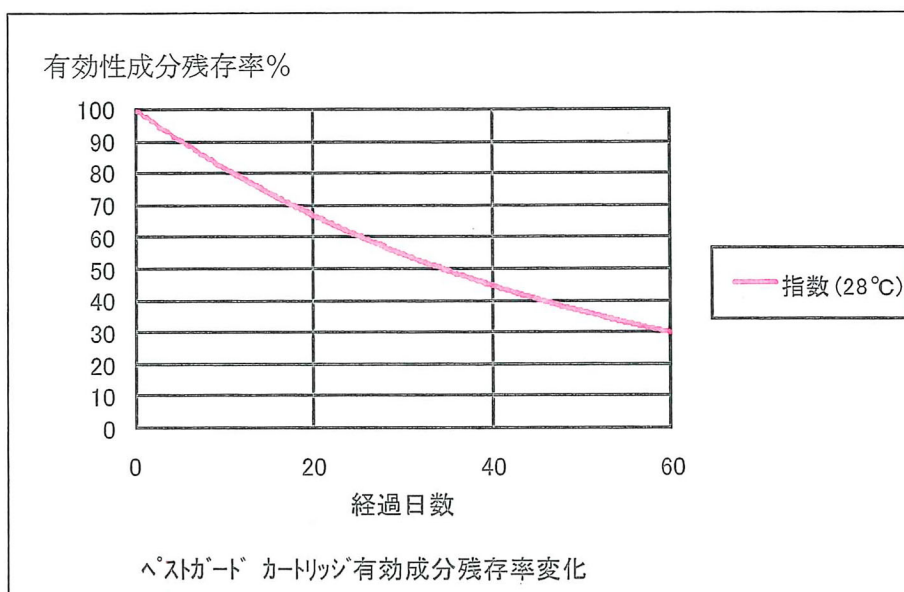
（1日24時間連続使用で約60日有効）

4. 薬剤の持続効果（残存性）

薬剤カートリッジの溶剤は約20日ではほぼ100%蒸散しますので、約1カ月を過ぎると製品重量は若干減少します。

有効成分は使用場所の気温・湿度等の条件によって蒸散量は変動します。外温度が28℃を基準にした薬剤の残存率を下記のグラフに表しました。外気温が高い夏期や、使用場所の環境条件によって有効成分の残存量は変動いたしますが、年間を通じて安定した効果が得られるように製品化しております。

表1 薬剤の残存率



5. 殺虫効力

ユスリカ、チョウバエ、コバエ、マダラメイガ、羽アリ等成虫の不快害虫に効果があります。

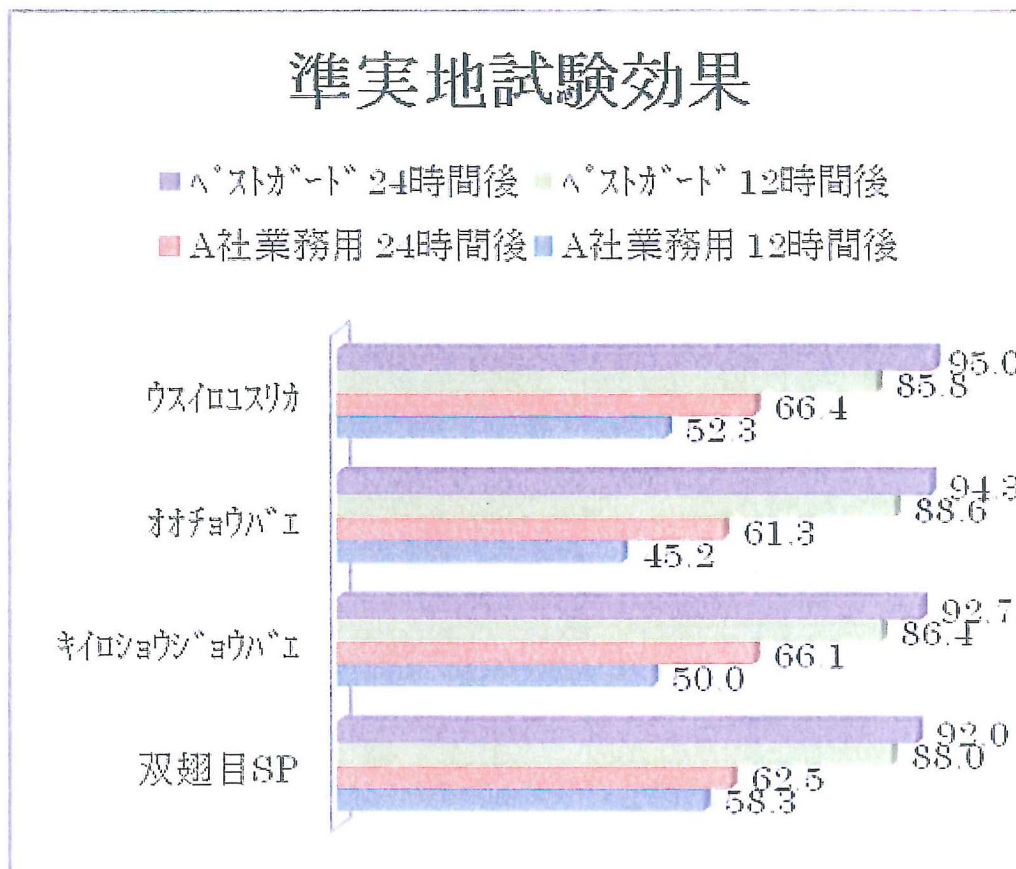
表2 基礎効力

供試害虫	ペストガード カートリッジ	
	KT50 (分)	KT90 (分)
ユスリカ	0.1	0.4
メイガ	4.6	18
タバコシハシムシ	7.1	22.9
オオチョウバエ	8.1	18
キロシヨウシヨウバエ	12.9	22.4

(25℃、0.7 m³チャンバー内)

※ KT50 ; 50%ノックダウン、KT90 ; 90%ノックダウン

表3 準実地試験結果(ノックダウン駆除率)



144 m²、外気温 15~18℃ 数値は駆除率%

6. 主な使用場所

食品工場・医薬品工場等の前室、倉庫、出荷・搬入ヤード、店舗等の室内空間、食品工場等の残渣処理施設、ビル地下排水処理室及び機械室

以上